

4. 南部地区

緑の目標・方針

広大な水田を背景とし、工場や事業所等が住宅地と調和する産業地帯として、活力のある緑豊かな街を創ります。

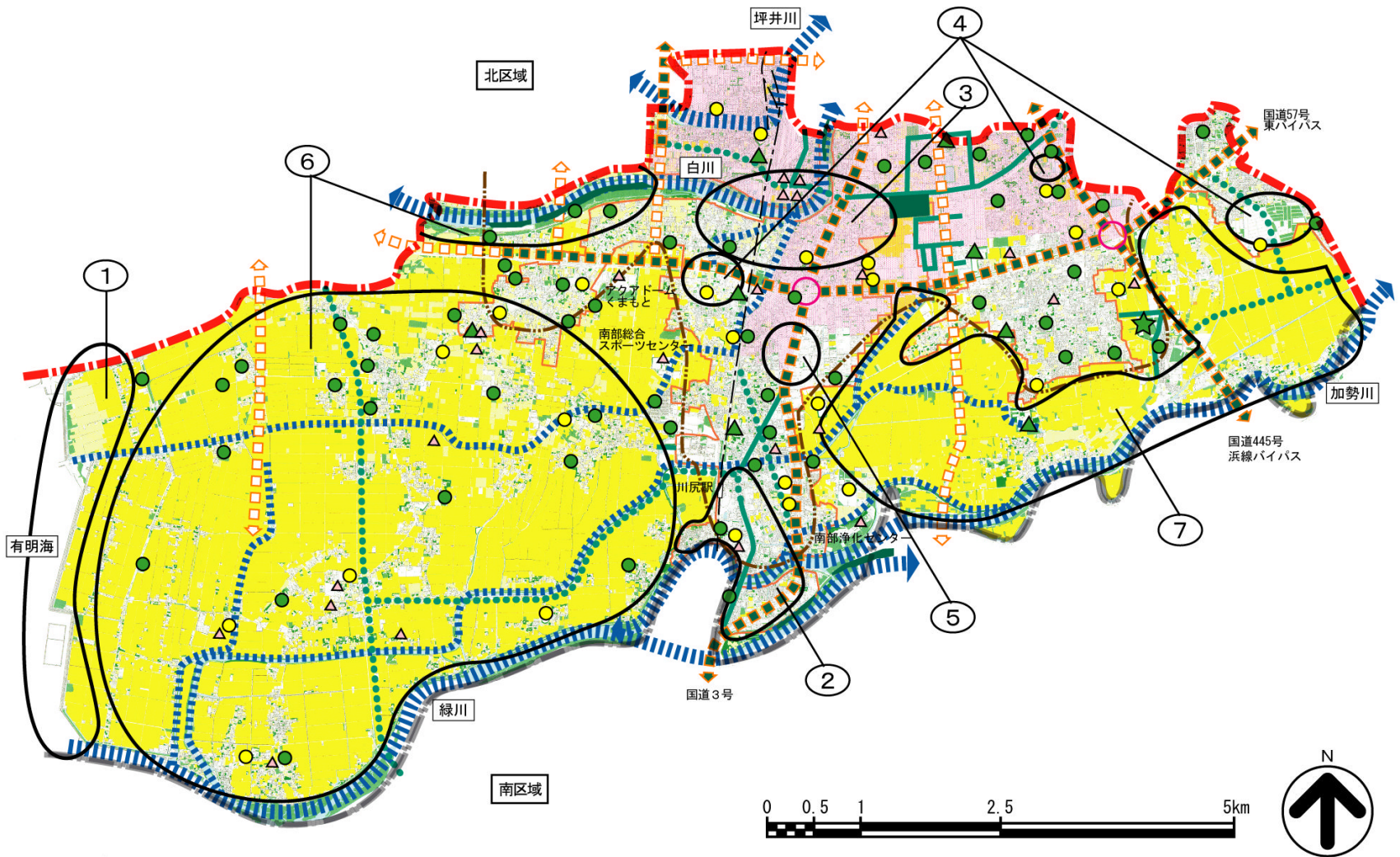
<緑の配置方針>

○（北区域）いきいきとした暮らしのある緑づくり

新しい市街地の計画的な緑づくりを行うとともに、川尻のまちづくりと一体になった緑づくりや工業地域における外周緑化等、いきいきとした緑の街を創ります。

○（南区域）水田地帯の緑づくり

広大な水田地帯や海岸線、加勢川、緑川の自然環境の保全につとめ、森と呼ぶにふさわしい樹林の拠点づくりを図るとともに、身近な生活環境において樹林地を守り育てる緑の街を創ります。



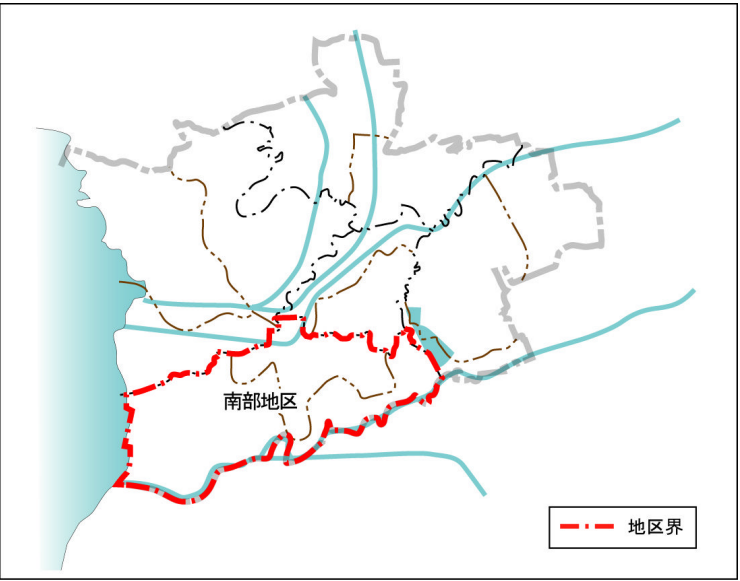
南部地区

	都市軸となる幹線道路の街路樹の整備と育成 (は街路樹のない区間)
	加勢川のふるさとの川づくり、緑川・白川・天明新川などの自然環境の保全と回復
南 1	干潟の保全と親水空間の整備
南 2	川尻の歴史と川を活かした緑の街づくり
南 3	白川沿いの市街地の緑化推進
南 4	区画整理地区の緑豊かな住環境づくり
南 5	工業地域の緑化推進
南 6	南西部の水田地帯、白川沿いの農地の保全
南 7	加勢川沿いの農地の保全

住区基幹公園	
	街区公園
	近隣公園
	地区公園 ※1,000平方メートル以上を図示
	街路樹の整備と育成 (は街路樹のない区間)
	学校の緑化推進
	公共施設の緑化推進
	緑の少ない校区の緑化推進
	交差点・駅周辺などの緑化推進
	良好な樹林の保全 (現況) 保存樹木 65本
	水田
	畑地 農地の保全と活用

地区の現況

本地区は熊本市の南西部に位置し、水田と水辺環境からなる田園地帯が広がり、豊かな田園景観となっています。樹林地等のまとまった緑地は御坊山等を除きほとんど存在していませんが、自然堤防上に古くから形成された住宅地は屋敷林や庭木等、緑の多い住宅地が多く、良好な街並みを形成しています。



凡例

	使用している住区基幹公園以外の都市公園
	草地
	水域
	市域
	地区界
	区域界
	市街化区域界